

○「職場懇談会」「要求アンケート」「しゃべり場」など「声」を基礎に ○「給与・住居手当」「会計年度任用職員制度」など要求・交渉で ○すべての職員の生活改善につながる労働条件の改善を

※県内単組の交渉状況「住居手当改定」県内5市が見送り (文責：県本部)

- 【新居浜】「給料表改定は国勧告に準じて改定。住居手当は県勧告に準じて改定しない」
- 【今治】「国・県の事情を検討し、県に類似と判断。今年度の住居手当改定は行わない」
- 【松山】「県勧告を踏まえ、松山市の状況を判断し据え置きとする」
- 【東温・西予】「給与改定は県準拠。住居手当見直しはしない」



《中央行動》愛媛から財務省に「地方と職場の実状」訴え、総務省に『会計年度職員署名』提出



11月7日、2019年秋季年末要求中央行動に全国1,500人(愛媛9)が参加。財務省前行動では、堀川県本部書記次長が「防災減災対策も含めて必要な自治体職員の人員増を。会計年度任用職員制度について国は財源確保を」と決意表明を行いました。『会計年度任用職員制度導入に向け、臨時・非常勤職員の雇用の安定、処遇改善を求める要求署名』の総務省への提出行動では、四国ブロック代表として力石さん(内子町職/写真前列右)が参加。その後、厚労省前→日比谷野外音楽堂で総決起集会→国会請願デモを実施。最後の「全国一律最賃制実現めざす全国最賃アクションプラン意思統一集会」では、自民党から最低賃金一元化議連事務局長の務台衆議院議員と立憲民主党・末松衆議院議員、日本共産党・宮本衆議院議員が参加し、186,115筆の『署名』を託しました。



第515号

発行所
自治労連愛媛県本部
〒790-0001 愛媛県松山市
電話(079)931-7314
FAX(079)931-1849
johim@page.ocn.ne.jp
発行人 高尾 博
編集人 丸尾 博
(この日付の発行部数は)
あらかじめご了承ください

日程

- 【12月】
- 14 県本部拡大執行委員会・単組代表者会議・要求活動・組織強化学習交流会
- 15 県本部女性部定期大会
- 青年部フットサル大会
- 18 県公務員共闘定期総会
- 21 自治労連組織集会 (大阪～22)
- 26 県教育委員会学校給食担当課要請(県庁)
- 【1月】
- 9 大洲市職定期大会
- 10 県本部拡大執行委員会
- 愛媛労連旗びらき集会
- 11 現業評議会定期大会
- 18 医療介護評幹事会(内子)
- 19 県本部保育部会幹事会
- 20 自治体問題研究所例会
- 22 東予総支部代表者会議
- 24 自治労連中央委員会 (京都～25)
- 26 自治労連医療部会・政府要請等要請(東京～27)
- 【2月】
- 1 非正規公共全国交流会 (長野～2)



《県市町振興課要請》

県本部は11月21日、「県市町振興課要請」を実施し、15単組16人が参加。県側は課長はじめ8人が対応。秋季年末の《共通重点要求》について「市町振興課の見解」を受け、各単組参加者が職場実状や改善要望を伝え、やりとり・確認を行いました。(ポイント抜粋要約・文責県本部)

①給与改定、人材確保、初任給・若年給与改善
《振興課》地方公務員法の原則にもとづき、8月人事院勧告、10月県人事委員会勧告の内容を考慮し、地域の実状をふまえ各市町で判断を。《県本部》今年度は国勧告と県勧告で「住居手当見直し」で差異があるが「給料表改定」などは「地域の実状をふまえ市町が判断」したい。

②両立支援など働き続けられる快適職場環境整備
《振興課》休暇制度は「国との均衡」を図ることが求められ、両立支援策として「特別休暇の活用」を行う市町もある。《県本部》病気休暇について「時間単位」で取得可能」と条例で定め運用している市町もあるが「制

度運用面の工夫として可能」と理解してよいか。《振興課》条例に定めているのであれば問題ないと考える。

④会計年度職員制度、雇用継続・処遇改善
《振興課》会計年度任用職員制度では「必要な職の整理」が行われ、「給料は1級1号を基礎に、職務経験等の要素を考慮して決定」されていると認識している。《県本部》これまでフルタイム任用の職を、1日7時間超のパートタイムへの変更についてはどう考えるか?

《振興課》総務省は「単に財政的制約のみを理由とした勤務時間の抑制は慎むべき」としており、市町の状況を把握し、助言を行ってほしい。

■最後に《振興課長》から「市町の実状と残業職場訪問や声かけなどの組合のとらえを伺うことができ、有意義だった。市町職員の『働き方改革』を進めるためにも、組合の活動を含め知恵を出しあうことが『業務のフオーマンス向上』につながる」と考えている」とコメントがありました。

「給与改定」「人材確保」「会計年度職員」など職場実状を伝え、改善のための助言を要請

県本部は11月21日、「県市町振興課要請」を実施し、15単組16人が参加。県側は課長はじめ8人が対応。秋季年末の《共通重点要求》について「市町振興課の見解」を受け、各単組参加者が職場実状や改善要望を伝え、やりとり・確認を行いました。(ポイント抜粋要約・文責県本部)

①給与改定、人材確保、初任給・若年給与改善
《振興課》地方公務員法の原則にもとづき、8月人事院勧告、10月県人事委員会勧告の内容を考慮し、地域の実状をふまえ各市町で判断を。《県本部》今年度は国勧告と県勧告で「住居手当見直し」で差異があるが「給料表改定」などは「地域の実状をふまえ市町が判断」したい。

②両立支援など働き続けられる快適職場環境整備
《振興課》休暇制度は「国との均衡」を図ることが求められ、両立支援策として「特別休暇の活用」を行う市町もある。《県本部》病気休暇について「時間単位」で取得可能」と条例で定め運用している市町もあるが「制



《県自治研集会in宇和島》

11月17日、宇和島市での「第60回地方自治研究愛媛県集会」に105人(県本部18単組91人、講師・助言者・市民など14人)が参加。岡原文彰・宇和島市長から「昨年の豪雨災害で甚大な被害を受けた柑橘産業の復興状況や、豪雨災害を踏まえた大規模災害への備えなどについて見識を深められ、それぞれの地域が発展するきっかけになることを期待します」と「歓迎メッセージ」が寄せられました。

■午後《全体会》では「2つの講演」が行われ、①「災害からの復興とボランティア支援の果たす役割」のテーマで、清家嗣雄さん(JAえひめ南伊予吉田富農センター長、みかんボランティアセンター長)は「20・30代の若い世代が『自ら動く』と行動し、50代以上の世代が励まされている。この1年間地域のつながり

が深まってきた」「受けたい『恩』を別の人に返していく『恩送り』が全国に広がりつながら、発展している」などの言葉が印象的でした。②「大規模災害に備えて!『南海トラフ巨大地震』を考える」のテーマで、毛利泰明さん(消防防災科学センター・防災図上訓練指導員)が講演。「防災活動も災害支援も『人をつなぐ』活動。行政がすべてやろうとせず、できる人を探してやってみよう」「行政の固定観念では現実と合わない。行政のリアル通りにはできない」という認識からスタートすることが必要。「防災は災害イメージをつくることから。被害を想定し、困ることを想定し、軽減する方策を考える」「過去の経験にこだわらない。行政は住民が求めることのバックアップを」など行政へのアドバイスも交えながら講演しました。



《県自治研集会in宇和島》

災害復興と地域産業を活かし、住み続けられる地域をめざそう

午前《分科会》は、①まちづくり・地域活性化(29人)、②社会保障・公衆衛生(22人)、③保育(21人)、④そこに人がいるから届けたい「いのちの水」(11人)、⑤青年講座「避難所運営防災シミュレーション」(15人)に分かれ、レポート報告・助言者アドバイスを受け、学びました。①分科会では、宇和島道路に設置してある「緊急避難経路の施設」を見学(写真右下)し、津波発生時の住民の緊急避難対策の状況を学びました。■午後《全体会》では「2つの講演」が行われ、①「災害からの復興とボランティア支援の果たす役割」のテーマで、清家嗣雄さん(JAえひめ南伊予吉田富農センター長、みかんボランティアセンター長)は「20・30代の若い世代が『自ら動く』と行動し、50代以上の世代が励まされている。この1年間地域のつながり

災害復興と地域産業を活かし、住み続けられる地域をめざそう



【西条&西予】

災害復興支援の職員派遣に感謝
これからも『絆』を大切にしよう

11月22日、昨年7月「豪雨災害」以降、復興支援のために西条市から西予市へ職員を派遣している縁で、西条市職労11人が派遣職員の激励もかねて西予市を訪れ、西予市職労14人と交流（群馬県前橋市からの派遣職員も参加）。西予市職労の源委員長が「西条市など

全国の自治体からの職員派遣のおかげで復興に向かっています。本当に感謝しています」と歓迎あいさつ。西条市職労の山内委員長が「西予市との交流はH21年の青年部同士の交流から続いている、今後この『絆』を大切にしていきたい」と乾杯し、交流会がスタート！様々な職種組合員が情報交換、派遣されている職員を激励し、深夜まで『絆』を深めました。



【津島吉田病】

世代交代した新委員長組合員の
支えが必要。みんなが活動参加を

津島吉田病院局労組は11月8日「定期大会」を開催し70人が参加。若藤委員長が「長年勤めた委員長退任の大会となるが、活動方針について積極的意見をお願いしたい」とあいさつ。大下宇和島病院労組委員長の来賓あいさつに続き、活動報告・会計報告、石村書記長が

「不満を要求に変えるためにも職場で話せる場を設け、自治労連共済を活用した組合員拡大も一緒に進めよう」など方針提起し、全会一致で承認されました。最後に、若藤新委員長が「委員長の大役を務めるが、新役員・組合員の支えが必要で、組合活動に積極的に参加協力を」など決意を語りました。大会後の懇親会には笑顔に包まれた交流が進みました。



【新居浜】

恒例「愛彩会」家族で交流
「子どもの成長感じた」の声も

新居浜市職労は11月2日、婦人部恒例の「愛彩会」を開催。幼稚園や地域の文化祭と重なりましたが女性職員・子ども・家族100人が大集合！手作りの食事・お菓子も昨年より多めに準備し「大満足＆大満腹」の声も。子どものコーナーでは、昨年好評ビニャータ

のリンクエストもあり、汗だくで叩く子どもたちよりやはり今年も一番盛り上がった大人たち。「みきゃん」も登場し「娘が昨年近づけなかったの自分から抱きつき1年間の成長を感じた」との話聞き、毎年の行事だからこそ感じられた喜びでした。継続してきた先輩からのチカラをつないで「婦人部の要求前進」「働きやすい職場づくり」にもとりくみます。



《全国バレー大会》新居浜チーム
接戦！惜敗。来年こそ決勝へ

11月7〜8日開催の自治労連全国スポーツ大会「バレーボール」（高知県）に出場の新居浜市職労チームは、予選リーグで接戦！惜敗でした。

19・21【新居浜市職労】 18・21・19・21【四万十市公労】 高知県
19・21【新居浜市職労】 22・24・19・21【上尾市職労】 埼

◎選手コメント
「今年是新採さんなど多くの新メンバーも加入して挑んだ全国大会でした。負けてしまいましたが、これも経験。来年も全国大会に行けるように練習し、決勝トーナメント出場をめざして頑張りたいと思います。来年こそは勝つぞ！」



【山】
新採保育士研修「あそび・うた講習」
子どもたちをぎゅーと抱きしめよう

松山市職労は11月24日「新採保育士実技研修会」を開催。3回目の今年は愛媛合唱団青年部の協力で、二本松はじめさん（つながりあそび・うた研究所所長）を招いて『つながりあそび・うた講習会』に参加の形で実施。各保育園から12人、全体35人が参加。二本松

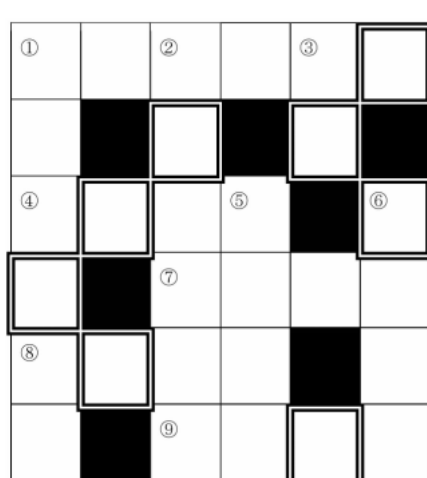
さんのギターに合わせて、身体を動かしたり、触れあって遊びました。最近では、親子も保育園でも触れあうことが少なくなってきたとのこと、手をつないだり、みんなで触れあって学びました。一番のメッセージ「生まれてきてよかった。生んでくれてありがとう」「このことをいまギューと抱きしめて子どもたちに伝える時」だと学んだ研修会でした。



【伊予】
カフェ形式であれ「れ」青年トーク
「つながり、働きやすい職場づくり」

伊予市職労は10月30日「Lat Collet CafeTalk」を開催し36人（採用3年目までの職員26人）が参加。松本書記長が「カフェ形式でさくばらんトークしましょう」と開会。木曾副委員長が組合について「働きやすい環境をつくるために活動」横

のつながりができる仕事でもメリット」「掛金の安い自治労連共済もある」「今日は組合活動の基本『要求を出す』を経験してほしい」など説明。班ごとに「①これってうちの課だけ？」「②これってセクハラ？」のテーマで話しあい発表しました。最後に松本書記長が「組合活動が少し分かってもらえたと思う。ぜひ組合に加入してほしい」と結びました。



【ヨコのカギ】
①一般的な考え方や習慣に従わず、独自の考えを通そうとする人
④中を貫いて反対側に抜ける。トンネルが〇〇〇〇する
⑦黄の色。「くちばしが〇〇〇〇」
⑧玩具。似たものは江戸時代に「手車」と
⑨組織をまとめ、動かすこと
【タテのカギ】
①1666～1867年の長崎奉行所の刑事判決記録。時代劇「鬼平〇〇〇〇〇」なども
②苦勞の多い境遇。不運な境遇
③植物で、根、〇〇、葉に分化
⑤オーストリア共和国の首都
⑥あとに従うこと。他の〇〇〇〇を許さない

出題者 堀川孝行
【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。
【送り先】自治労連愛媛 県本部パズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載
【締切り】1月27日【発表】517号(2月号)

おたより
ありがとう
■日の入りが一日一日と早くなり、夕方が寂しく感じられます。冬はそこまで来ています。(松山・友近)
■朝晩が冷え込む季節になってきました。押入れの中で眠っている暖房器具をそろそろ起こしてみましようか(笑)(新居浜清掃・永易)
■読書には最適な季節です。書店を一周し、お気に入りの一冊を探しあて、
■513号のパズルの答えは「タカハマキヨシ」(高浜虚子)でした。正解は13通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)
大西 正浩(四国中央)
川名 良子(西条)
越智 紀幸(谷治一般)
竹森 千晶(西予)
岡崎 美郁(宇和島)
老眼片手に一気に読破。今日はどんな本に出会ったか楽しみです。(西予・竹森)
■前回西条の記事がなくて残念。定年まで後4カ月余り、寂しいなあ。(西条・川名)
■あつという間に年末がこようとしています。あともう少しで私も一区切りです。生活のことも大事ですが、残りの人生自分に合った仕事が見つかるかと願っています。(四国中央・笹本)